

令和元年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

事業報告

I. 全体概要

種苗供給実績は、かんしょ・いちご・らっきょう・ラナンキュラス・ピーマン台木等が前年度実績に比べて増収となり、にがうり・デルフィニウムが前年度実績と同程度で、かぼちゃ・スイートピーが前年度実績に比べて減収となった。

種苗供給事業の事業収益額は62,287千円となり、前年度実績に比べて14,789千円の増収となり、前年度実績比131%(当初予算比119%)となった。

事業費額は84,188千円で、前年度実績に比べて19,195千円の増となり、前年度実績比130%(当初予算比122%)となった。本年度は修繕費、委託費(シルバー賃金等)、資材費が大幅に増加するとともに、施設整備のための引当金の繰入により、前年度実績に比べて大幅に増加した。

その結果、事業収益、受取会費、受取委託料・補助金等を合計した経常収益額は94,538千円となり、事業費、管理費を合計した経常費用額92,808千円を差し引いた経常増減額は1,730千円となった。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第1回臨時総会を平成31年4月26日、第57回定時総会を令和元年6月26日、第2回臨時総会を令和2年3月25日に開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第1回臨時総会	平成31年 4月26日	J Aビル 503研修室	1. 役員 の 辞任 に 伴 う 後 任 者 の 選 任 (案) に つ い て (別表-1)
第57回定時総会	令和元年 6月26日	J Aビル 501研修室	1. 平成30年度事業実績及び収支決算等の承認について 監査報告 2. 理事 の 辞任 に 伴 う 後 任 者 の 選 任 (案) に つ い て (別表-2)
第2回臨時総会	令和2年 3月25日	J Aビル 503研修室	1. 令和2年度会費及び納入方法(案)について 2. 規程の改正(案)について

2) 理事会

理事会を開催し、総会付議事項等について審議した。なお、第1回理事会は決議の省略の同意が得られ、書面議決となった。理事会に上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場 所	議 案 事 項
第1回理事会	—	—	1. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について 2. 第57回定時総会の開催(案)について
第2回理事会	令和元年 5月31日	J Aビル 503研修室	1. 平成30年度事業実績及び収支決算等の承認について 2. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について 3. 役付理事の選定(案)について 4. 第57回定時総会の開催(案)について
第3回理事会	令和2年 2月21日	J Aビル 501研修室	1. 令和元年度収支予算の補正(案)について 2. 令和2年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 令和2年度会費及び納入方法(案)について 4. 規程の改正(案)について 5. 令和元年度第2回臨時総会の開催(案)について

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

委員会	開催日	場 所	協 議 事 項
第1回企画運営委員会	令和元年 5月10日	総合農試 第2会議室	1. 平成30年度事業報告、貸借対照表等について
第2回企画運営委員会	令和2年 2月4日	総合農試 第2会議室	1. 令和元年度収支予算の補正(案)について 2. 令和2年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 令和2年度会費及び納入方法(案)について 4. 会費の算出基礎見直しについて

4) 優良種苗生産供給部門別会議

優良種苗生産供給事業を効果的かつ円滑に推進するため、関係機関と連携して、花き部門・野菜部門(かんしょ部門含む)・病害虫部門の担当者会議を開催した。

[部門別会議の開催]

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
花き部門	令和元年 10月17日	パイテクセンター 会議室	1. パイテクセンター作付計画について 2. スイートピーの採種について 3. ラナンキュラスのメリクロン状況と今後について 4. スイートピー、デルフィニウムの育種状況について

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
野菜部門 (かんしょ 含む)	平成31年 4月15日	総合農業試験場 第1会議室	1. かんしょの系統候補の取組状況について 2. かんしょの保存品種の取組状況について
病害虫部門	令和元年 12月23日	バイテクセンター 会議室	1. かんしょ苗床での病害虫防除対策について 2. 野菜苗(ビマン・ナス・キュウリ苗)の病害虫防除対策について 3. ラナンキュラスの育苗における病害虫対策について

5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	期 日	備 考
棚卸監査	令和2年 4月1日	令和元年度期末棚卸監査
帳簿監査	令和2年 4月21日	令和元年度期末帳簿監査

2. 種苗生産・供給事業

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種等について、宮崎県から許諾を受け、種子の採種生産及び供給を行った。

①かぼちゃ

黒皮かぼちゃの「宮崎早生1号」等の3品種を供給し、供給実績額は509千円で、前年度実績比81%(当初予算比77%)と減収した。

②にがうり

「佐土原3号」、「みやざきつやみどり」等の4品種を供給し、供給実績額は5,404千円で、前年度実績比97%(当初予算比85%)となった。

③ピーマン台木

近年、需要が伸びているピーマン台木については、青枯病・疫病抵抗性に優れる「みやざき台木5号」、青枯病抵抗性に優れる「みやざき台木3号」等の3品種を供給し、供給実績額は4,056千円で、前年度実績比110%(当初予算比120%)と増収した。

④スイートピー

複色系品種の「紅式部」、巻ひげの無い品種の「ムジカローズ」・「ムジカスカーレット」等を供給し、供給実績額は195千円で、前年度実績比75%(当初予算比89%)と減収した。

⑤デルフィニウム

白系の「ペガサス」、青系の「ブルーオリオン」等の6品種を供給し、供給実績額は1,196千円で、前年度実績比101%(計画比98%)であった。

(2) 栄養繁殖作物の無病種苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ラナンキュラスの無病種苗を生産供給した。

①かんしょ

「宮崎紅」、「コガネセンガン」、「べにはるか」等の8品種の挿苗及びポット苗を供給し、供給実績額は37,554千円となり、前年度実績比149%（当初予算比139%）と大幅に増収した。

挿苗は前年度実績比115%（当初予算比106%）で増加したが、ポット苗は基腐病の発生拡大に伴い、緊急に、1芽挿し育苗を参考にしたポット苗を約10万5千鉢を供給し、前年度実績比814%と激増した。

品種別では、「宮崎紅」の供給実績額18,786千円で、前年度実績比212%（当初予算比180%）、「コガネセンガン」の供給実績額は14,856千円で、前年度実績比106%（当初予算比104%）、「べにはるか」の供給実績額は2,992千円で、前年度実績比221%（当初予算比243%）となった。

②いちご

「さがほのか」の苗を供給し、供給実績額は3,359千円で、前年度実績比110%（当初予算比100%）となった。

③らっきょう

「らくだ」の種球を供給し、供給実績額は1,468千円で、前年度実績比114%（当初予算比99%）となった。

④ラナンキュラス

「ラズベリル」、「サンキュラス・ホワイト」等の16品種の培養苗及びかぎ芽苗を供給し、供給実績額は877千円で、前年度実績比273%（当初予算比84%）となった。

(3) 優良種苗供給体制整備事業

優良種苗の安定生産供給技術の確立に向けた試験・実証等を行った。

① 原料及び加工かんしょの苗安定生産供給技術の確立

・新系統選抜試験では、加工用原料として需要の多い「宮崎紅」の「A-3」及び「T-15」の収量性等の年次変動を畑作園芸支場で調査し、収量が年々増加する傾向にあり、選抜効果を確認できた。

・効率的な栽培方法の試験では、密植栽培と慣行栽培での1人当り採苗本数を比較した結果、密植栽培が慣行に比べ、102~106%程度多い結果となった。

② らっきょうの優良系統選抜・比較試験と種球洗浄消毒による病害虫対策の確立

・優良系統選抜試験では、県内各産地の系統（6系統）を供試し、畑作園芸支場及びバイテクセンターで、平成30年作付の収量及び形質調査を行うとともに、令和元年10月作付の生育調査を行った。今後も継続して試験を実施する。

・収穫後及び定植前のベンレート水和剤等による種球消毒の効果確認について、センター等で実施し、現時点で病害虫の発生はなく、生育は順調である。

③ カラーピーマン有望系統の採種技術の確立

・カラーピーマンの有望6系統を供試し、春どり採種における交配時期別の採種量を比較検討した結果、両系統とも5月中旬での交配率が良い結果となった。今後は秋どり採種において検討する予定である。

・有望系統（6系統）の発芽能力については、15-65（赤辛）の発芽率が高い結果となった。今後も継続して比較検討を行う。

④ ラナンキュラスウィルスフリー球根の安定生産技術の確立

・球根腐敗対策では、球根伏せ込み前の殺菌剤等による消毒効果を検討し、ケミクロンG+アグロケアWC処理で、出芽本数が増加し、芽の肥大が見られた。

・かぎ芽苗の生産技術の確立では、かぎ芽時の傷口に殺菌剤等を塗布し、保護効果と成苗率の向上について検討する。

⑤ スイートピー「紅式部」の採種技術の確立

・採種率の向上では、亜リン酸資材の葉面散布による採種量に及ぼす影響について、また種子2回採りの可能性では、株元から伸長した茎を利用して交配し、採種量を調査している。

・結実の容易な個体の選抜については、平成29年度以降、結実量の多い個体を供試し、採種効率、特性を継続調査し、結実の容易な個体の選抜に取り組んでいる。

⑥ ブルーフレグランスの採種技術の確立

・育苗での催芽方法や整枝誘引方法での絵筆による受粉での採種量について調査している。

⑦ りんどうメリクロン苗の安定生産技術の確立

・発根に適した培地としては、NAA0.02ppm添加培地が良かった。また、培養苗の順化における鉢上げ用培土については、パーキュライト+パーライトの混合土で、苗の活着が良かった。

(4) 優良系統・品種の親株保存管理

県育成品種で、現在普及中の品種・系統及び遺伝資源として利用の可能性のある品種・系統を将来の活用に備え、保存・管理しており、野菜2品目4品種、いも類1品目10品種、花き4品目25品種の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

作目	品目	品種	導入先	導入年	保存形態		
野菜	いちご	とよのか	宮崎市	平成5年	フラスコ苗		
		みやざきなつはるか	県総合農試	平成25年			
		こいはるか		平成29年			
	らっきょう	らくだ	都城市	平成2年			
		らくだ		平成5年			
いも類	かんしょ	宮崎紅	串間市	平成7年			
		宮崎紅A-3	県総合農試	平成18年			
		宮崎紅0-61		平成24年			
		ことぶき	宮崎市	平成8年			
		コガネセンガン	県総合農試	平成24年			
		アヤムラサキ					
		べにはるか					
		ジョイホワイト					
		ムラサキマサリ			平成25年		
		コガネマサリ			平成26年		
		タマアカネ			平成27年		
		T-15			平成29年		
		GN89(シウス親)			綾町	平成18年	
LP93(レグリス親)							
花き	カンキョラス	ガーネット	綾町	平成20年			
		ラズベリル					
		ローズクオーツ					
		カンキョラス3品種					
		マリテム等4品種	綾町	平成27年			
		ビュセ等5品種		平成28年			
		カンキョラス・メアリ・ピンク	県総合農試	平成29年			
		カンキョラス・レッド					
		キティラ					
		ディーニュ					
		ポムロール					
		スプレーカーネーション			ローロ	綾町	平成19年
					ローロレッド	県総合農試	
ローロピンク							

2) 野菜苗の受託育苗

ハウス施設の有効活用等を図るため、7月～10月を主体に、野菜苗（ピーマン、なす、きゅうり）の育苗をジェイエイ・アグリシード㈱から受託して行った。受託収入は7,179千円で、前年度実績比121%（当初予算比97%）であった。

[野菜苗の受託育苗]

品目	数量
なす苗(佐土原なす含む)	24,764本
きゅうり苗	48,852本
ピーマン苗	68,201本
合計	141,820本

(別表-1)

役員の辞任に伴う後任の役員

1. 理事

辞任		新任	
氏名	役職名	氏名	役職名
中田 哲朗	前宮崎県農政水産部長	坊蘭 正恒	宮崎県農政水産部長
吉岡 秀樹	前(公社)宮崎県バイオロジ-種苗増殖センター常務理事(所長)	林 嘉孝	(公社)宮崎県バイオロジ-種苗増殖センター常務理事(所長)
興梠 昌彦	前高千穂町農林振興課長	甲斐 徹	高千穂町農林振興課長
大河内敏雄	前西都市農政課長	伊東 功一	西都市農林課長

任期：平成31年4月臨時総会から令和2年6月定時総会まで

2. 監事

辞任		新任	
氏名	役職名	氏名	役職名
壹岐 富美雄	前宮崎市農政部長	島村 幸広	宮崎市農政部長

任期：平成31年4月臨時総会から令和2年6月定時総会まで

(別表-2)

役員の辞任に伴い後任の役員

1. 理事

辞任		新任	
氏名	役職名	氏名	役職名
藤原 榮伸	前J A宮崎中央代表理事組合長	栗原 俊朗	J A宮崎中央代表理事組合長

任期：令和元年6月定時総会から令和2年6月定時総会まで